

学校施設の教育環境向上を図る改修等に関する課題解決事例集

～既存学校施設を活用したこれからの学びの環境づくり～

法的制約への
対応が不明

構造体の改
修範囲の見
極めが困難

改修のノウ
ハウ不足



改修時にボトルネックとなる課題

文部科学省では、学びの在り方の変化を踏まえ、有識者会議において、これからの学校施設の姿について議論を行い、令和4年3月に報告書「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」を公表しました。新しい時代の学び舎については、学校施設全体を学びの場として創造していく姿が提言されています。

膨大な数に上る学校施設の老朽化が進む中では、新しい学び舎を実現するためには、新築・改築のみならず、これらと同等の効果を実現しうる長寿命化改修を積極的に推進していく必要があります。しかし、教育環境向上と老朽化対策を一体的に取り組む際に、構造体の改修範囲の見極めが困難、法的制約への対応が不明、改修のノウハウ不足などのボトルネックとなる課題について指摘されています。

そこで、ボトルネックとなる課題を抽出・整理し、対応策を分かりやすく解説した事例集を作成しました。

基礎編 (第1部)



学校施設の実態や新しい時代の学びを実現する改修整備の方向性を紹介。

資料編 (第3部)



改修整備の際の技術的に参考となる情報を紹介。

事例編 (第2部)



前半では、既存学校施設の特性や構造・法令上のポイントを紹介。
後半では、改修整備事例を基に目標の設定や検討プロセス、工期等の技術的課題への対応例を解説するとともに、改修時の構造・法令上の具体個別課題への対応例を解説。

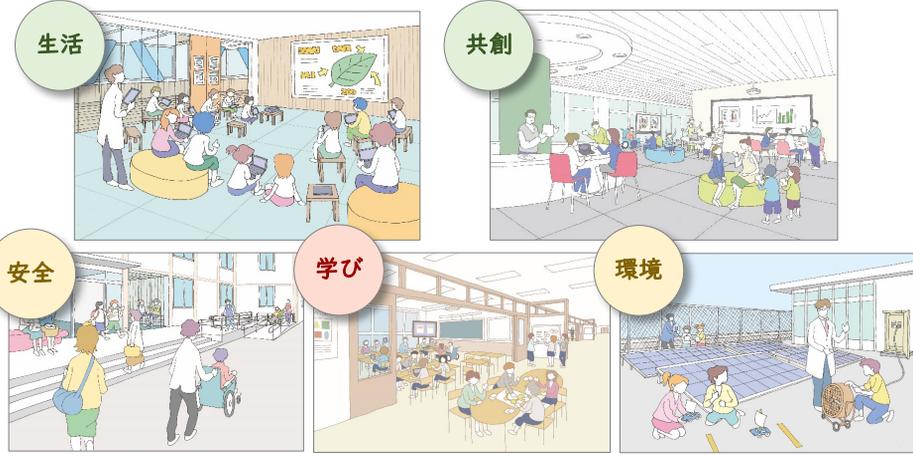
新しい時代の学びを実現する空間イメージ例

(「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(令和4年3月 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 最終報告))

全ての子どもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



【新学校施設ビジョン (イメージスケッチ)】



新しい時代の学びに対応した空間を改修等で実現する際に、
ボトルネックとなる課題への対応策を分かりやすく解説しています

■教育環境向上の手法



柏市立土小学校 (千葉県柏市)

学習指導要領に対応した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、老朽化した施設の教育環境の向上と老朽化対策を一体的に進めるため、市の改修モデルとなるように学校関係者の対話を重ね、整備が行われた。

新しい学びのスタイル

全面改修

防災

防犯

3面ホワイトボード

隣教室との開口部

■構造体の改修範囲の見極め



個別具体の課題対応 (構造上)

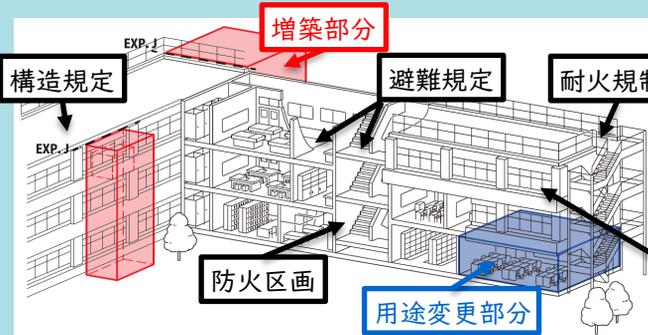
教室間にある耐力壁を撤去し、多様な活動を行うことのできる広いスペースを確保した事例を紹介している。

耐力壁撤去

耐震診断

耐震補強

■法的制約や法解釈



既存不適格への対応

学校施設の長寿命化改修に取り組む際に、既存不適格への対応の参考として、増築等を行う際の既存の建築物に対する制限の緩和、用途変更の場合の既存遡及について整理している。

採光・換気等開口部の規定

資料提供: 「建築知識2022年7月号」(株式会社エクステル) (イラスト: 志田幸織)

■詳しくは、本事例集をご覧ください。

URL: https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/seibi/1372577_00003.htm



■お問合せ先

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
施設企画課指導第二係

TEL: 03-5253-4111 (内線: 2292)